

夏休み直前特集

どうする？ 子どもたちの防犯と安全

身近な場所でも起きています。子どもたちを取り巻く事件や事故。耳にする度、不安に思われている方も多いのではないのでしょうか。夏休み中の子どもたちの安全を守るために、私たち親はどのように対応していけば良いのでしょうか？



不審者対策について

●夏休みになると子どもたちが遊びに行く事が多くなりますが、変質者や不審者への対策法を教えてください。狙われやすいのはいつ、どこで、どんな子でしょうか？

―子どもへの教え方は？
●家庭では、子どもにどんな風に教えたら良いでしょうか？

人との安全な距離を教えてください。知らない人は2m距離をあける様にしましょう。助けを呼ぶために声を出す練習をしてください。普通の大人は、子どもに道を聞くことはない、と教えてください。もし道を聞かれたときは「子どもだからわかりません」と答えるように教えましょう。

もし何かあったら、子ども110番か人が集まる場所、コンビニや病院などへ逃げ込むことを教えてください。普段からPTAの見回りやおまわりさんに声をかけ挨拶をしましょう。子どもたちの味方だということを教えてください。 (宮前小学校では、町会・地域の皆様・警察・PTAで毎月パトロールや登下校指導を行っています。)

防犯について

●防犯する為に、大人はどうしたらよいのでしょうか？

子どもたちだけで遊びに行かせず、できるだけ親が見守るようにしてください。(大人の目で防犯)。また、バスや電車などを使って出かける際には、親が横に座ったりして痴漢から守ってください。

その他の危険

●その他に子どもたちを取り巻く事案がありましたら教えてください。

●交通事故の3割が自転車の事故です。自転車を出かける際には交通ルールを守る事を教えてください。●2月に川崎区であった事件の後、中高生の溜まり場がどんな場所にあるのかが気になっています。●夜のコビニや公園が溜まり場になりやすいです。●もしも子ども同士のトラブルに気が付いたら、どん

なふうに対応したらいいのでしょうか？
なにかあったら迷わず110番へ！
事件を未然に防ぐ為に、生活安全課、防犯係、少年係、に相談することができます。

覚えよう！神奈川県警推奨防犯標語
『おおだこポリス』

『お』おうちの人の人に行ってください！

でかけるときには、かならずおうちの人の人に行きさきをはなしてからでかけましょう。

『お』おともだちと遊ぼうね！

ひとりであそんでいる子をわらわりの人がねらっているよ。

『だ』だまされてついて行かない！

わるい人は、やさしいことばでみんなをだましてつれていこうとするよ。

『こ』こわくなったら大声で！

こわくなったり、あぶないときには大きな声ですけをよぼう！

約束「とびだししないよ!!」

4月21日(火)、1年生の歩行教室が学校体育館でありました。校長先生のお話の後、川崎市交通安全協会の庄司先生から、通学路の交通ルールの説明がありました。実物の信号機や、絵やパネルを使った丁寧な話を、子どもたちは真剣に聞いていました。道路に見立てて、実際に歩行する際には横断歩道で手を上げ、先生に聞いた事をきちんと守っていました。



最後に川崎警察署の小野田さんから、交通事故の原因で一番多いのが、とびだしと聞いて子どもたちは「とびだししないよ!!」と大きな声で約束をしていました。